

NIIオープンフォーラム2022
NII RDCトラック5 「大学における研究データガバナンス」 Slido Q&A

質問	回答	Score
船守先生の講演資料は掲載されていませんが、公開されなideょうか？公開いただけると有難いでず。	資料については後ほど公開します。ぎりぎりまで作業していたため、遅くなりました。ご迷惑をおかけしました。	17
研究データポリシーを既に作成した日本の大学はあるのでしょうか？	国内大学の研究データポリシーについては、以下をご確認下さい。随時更新の予定です。 https://sites.google.com/view/axies-jpcoar/project/%E5%9B%BD%E5%86%85%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E3%81%AE%E7%A0%94%E7%A9%B6%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%BC%E4%B8%80%E8%A6%A7?authuser=0	2
舟守先生に質問です。国立研究開発法人のほうが先行してデータポリシーを策定していますが、国立研究開発法人のポリシーを参考にしないことには何か理由がありますか？NIIは教育機関ではないので、大学よりもむしろ国研のほうに近いように思うのですが。。	大学と研究開発法人の研究データポリシーの違いについては、以下の一番最後のスライドをご参照下さい。簡単に言うと、国立研究開発法人は「研究」を機関の中心的なミッションとしており、研究データも組織の活動の一環として取得されているため、これを組織として社会に還元することが明確に位置づけられます。これに対して大学は「教育」を機関の中心的な使命としており、研究活動は、科研費にも見るように、研究者に研究費が付与され、機関の役割は研究プロジェクトの受託や執行に関わる事務の遂行のみです。研究者が研究する研究テーマについても、機関にはコントロールがありません。このため、機関から研究データを公開する必然性は必ずしもないのですが、一方で、科研費も公的資金を得ているため、研究者が生成した研究データについても公開をした方がよいという理屈が成り立ちます。このように、研究データに対する機関と研究者の位置づけが、大学と国立研究開発法人では異なるため、両者において、異なる性格の研究データポリシーを策定する必要があります。 なお、国立情報学研究所は研究所ではありますが、大学共同利用機関で大学と同列で、研究者は自由なテーマ設定で研究活動をしていますし、組織として行なっている事業も「研究」ではなく「学術情報基盤の提供」であるため、大学と同様の研究データポリシーとなります。 https://researchmap.jp/funamori/presentations/33861251	4
(質問ではありませんが) DMRという考え方はすごく共感を覚えます。ALCOAの原則に++として「traceability」が明記されました。これはつまり記録を残してしっかりと追跡できるようにする、ということが研究データガバナンスの根底にあるのではないかと考えています。	ありがとうございます！自信をもって、DMRという表現を使っていきたいと思います。普及にご協力いただければ幸いです。	2
DMRを管理、保存(必要に応じて開示?)するのは、研究者のイメージでしょうか？事務部門のイメージでしょうか？GakuinRDMの管理者アカウントの権限を持っていますが、各プロジェクトで研究データがどのように動いているのか見えないので、事務部門でDMRを管理するのは難しいように思いますが、研究者異動も想定して機関として保存(事務部門)すべきなのかな、と思いました。しかし実際にどのようにすればよいのか、具体的なイメージがわかりません。	DMP/DMRは、各種システムからの自動入力も受けながら、研究者が作成します。このDMP/DMRを機関と研究者で共有することにより、機関からも確認可能なものとなります。研究者異動後も、DMP/DMRは機関において管理され、必要に応じて参照可能となります。異動した研究者がどのようにDMP/DMRにアクセスできるようにするかは、今後の検討課題です。	1
金子様、研究データ管理計画の実務についてお伺いさせていただきます。データ管理の台帳の記入実務や管理保存を統括して行う役割の方は、研究推進の部署の方が行われるご計画でしょうか。研究に対する専門的な理解が必要になるのではないかと推察しており、どのようなスキルを持った方がご担当されるかお伺いしたく質問する次第です。また、外部委託などもご検討可能とお考えになるか、金子様のお考えをお伺いできますと幸いです。よろしくお願ひいたします。	ご質問ありがとうございます。DMPの記入は研究者本人と考えております。研究データの管理は、当該研究者の役割であり、事務部門はその支援を行うと言う役割分担を考えております。「支援」の内容としては、先ほどふれたような「作成支援システム」のような「仕組み」の提供や、課題番号など研究費の申請などの際にすでに登録されているデータは、事前に登録しておいたり、簡単に引っ張って来られる仕組みを提供すること、また、記入する際の項目ごとの記入要領を提供することなどを考えております。ただ、本学でも、この支援体制についてはまだできておらず、今後形成していく予定です。	5
現在RDMに関する研究をしているものです。参考としてGakuNin RDMを使わせていただいております。Googleドライブとの連携をしようと思ったのですが、うまく行っておりません。(具体的には、「このアプリが、Google アカウントのプライベートな情報にアクセスしようとした。アカウントを安全に保つため、Google によりこのアクセスはブロックされました。」)と表示されて連携できません。GakuNin RDMにおける対応状況や、メンテナンス情報がわかるページがあれば幸いですのですが、そのようなページはございますか？	GakuNin RDMのメンテナンス情報はのユーザサポートポータルでお知らせしております。 https://support.rdm.nii.ac.jp/ GakuNin RDMのサポート問い合わせ先は下記URLになりますが、個別の不具合、トラブルにつきましては、貴学のGakuNin RDM管理の担当部署(情報基盤センター、附属図書館等)が一次窓口となっており、ご質問の内容によっては、貴学の担当者様に転送させていただくことがございます。 https://support.rdm.nii.ac.jp/contact/	1
電子ラボノート(ELN)とDMPの連携という点についてももう少し具体的にお話しただけですでしょうか。 ELN上にはDMPに必要なメタデータは無限に載ってくると思うのですが、そこからどれを選択して連携するのがなかなかイメージできませんでした。 いい考えがあれば是非。	ご質問ありがとうございます。電子ラボノート(ELN)とDMPとの連携に関する直接の回答にはなりませんけれど、その連携イメージに近いものとして現在NII-RDCデータガバナンス機能のプロトタイプで実装しているJupyter NotebookとDMPの連携については以下の資料のpp.13-26をご参照いただけますでしょうか。 https://www.nii.ac.jp/openforum/upload/20220601_nii_rdc4_6.pdf	1
金子様 慶應大学の事例とても参考になりました。ありがとうございます。研究データ管理の検討は、どのくらいの人数でされましたでしょうか？その中で支援部門と研究・教育部門の人数の比率はどのくらいでしたでしょうか？また、トップ(とりまとめ)ほどの立場の方がされておられますか？検討母体も発展的に変遷しているようですが、差し支えない範囲で教えて頂けますと有難いです。	ご質問ありがとうございます。これまで、ポリシーとDMP項目の策定は、研究データ管理特別委員会という検討委員会ですすめておりますが、人数は6名(教員3名、職員3名)です。教員は、研究連携推進本部の研究データ管理部門である経済学部の教員が委員長で、研究連携推進本部長とオープンサイエンスに造詣の深い教員という3名です。職員は学術研究支援部から2名と図書館から1名が参加しています。DMP項目の検討は、図書館の中で別途検討チームを作ったたたき台をつくっていただきました。研究データポリシーは、事務局でたたき台をつくり、下案ができたところで全教員にパブコムを募集して、それをふまえてまとめています。	4
研究の過程・完了時までのDMP・DMRに基づいたデータ管理のイメージはつかめたのですが、プロジェクト完了後公開フェーズに移行してからの長期的なDMP・DMRの保存とデータ管理について理解が及んでおりません。 研究終了後、DMP・DMRはGakuNin RDM上で保管され、研究者本人と権限を持つ機関が協力して適切なマネージメントを行っていく形となるのでしょうか？	・研究終了後、DMP/DMRはある意味、機関の文書管理に移行し、研究者からも勿論確認可能ですが、機関において管理・保存されます。これをGakuNin RDM上で保管するか、別のシステムの方が適当なのかについては、今後の検討課題です。是非議論に加わり、大学におけるニーズをご連絡ください。 ・DMP・DMRは研究終了後もGakuNin RDM上のデータガバナンス機能で保管され、研究者と機関からも見える形で研究データ管理できるような設計を目指しておりますが、現状では構想中ですので、今後ご意見や議論を受けて機能要件化していきたいと思ひます。ぜひ、AXIESのRDM部会などで継続議論させていただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。	1